

# 2011 年度 入学前準備教育 実施報告書

## 【2月講座】

2011年2月7日（月）～10日（木）、15日（火）～18日（金）  
21日（月）～23日（水） 11日間

## 【英語集中講座】

2月24日（木）・25日（金）・28日（月）・3月1日（火）・3月2日（水）5日間

## 【3月講座】

3月7日（月）～11日（金）、15日（火）・16日（水）  
22日（火）～25日（金） 11日間  
※3月15日（火）以降、震災のため中止

## 報告にあたって

聖学院大学が入学前準備教育に取り組み始めたのは2000年ですが、当初は単なる高校までの学習内容の補習学習であるというような誤解もあり、大学のやるべきことではないと批判されることもありました。実際に中学レベルの学習をやっているとの記事が一人歩きしてそれを読んだ記者の方からの興味本意の取材もありました。

しかし私たち入学前準備教育のスタッフは講師も職員も在学生も常に「新入生たちがいかに高校から大学へスムーズに移行できるか」を考えて、カリキュラムを組み、イベントを企画してきました。

大学で学ぶために押さえるべきポイントは「意欲」と「学習習慣」と「基礎学力」にあると考え、講師とスタッフと検討を重ね、年毎に改良しながら、オリジナルの教科書を作成し、プログラムを作っています。

聖学院大学の入学前教育の特色はなんといっても11日間を通学制で実施することと希望者を対象に有償で行うことにあります。他の大学にこのように通学制で長い期間を入学前教育に当てている大学はありません。

本学が通学制にこだわったのは、「大学での学び」を講義の形で直接新入生に伝えたいと考えたからです。講師たちに自らの体験や大学に入って伸びた学生の実例をもとに学び方を伝えるようにしています。そのために講師たちは科目を越えて情報を共有し、できるだけ共通したテーマで実習を含んだ講義を行っています。自己紹介とプレゼンテーションの時間を11日間の最後に設け、講師たちがコメントするという形式も講師たちが考えたものです。今では学生スタッフもこれに加わり、講師控え室がスタッフミーティングの部屋に変わってきています。そこで改善点が話し合われ、次年度の企画が決まっていくようになりました。

昨年からは「ワールドカフェ」というディスカッションの手法が取り入れられ、学生スタッフが外部の研修会に参加してやり方（ファシリテーション）を学ぶようになってきました。今回の震災をきっかけに新入生も巻き込んで学生たちの企画で「今私たちに何ができるか」をテーマに学内で「ワールドカフェ」が開催されるようになったことはうれしい動きです。

まさに大学での学びは受動的なものではなく、自分たちが動いて身に付けていくものであるということが入学前準備教育を通じて出来つつあります。十年以上継続したことで、先輩が後輩に添削や面談のやり方を受け継いでいくということもできるようになりましたし、新入生の悩みや相談に乗ってあげることができるようになってきました。

大学入学は、多くの学生にとって新しい出発をするためのきっかけになるものです。その時により出発ができるように大学は、高校までの成長をしっかりと受け止め、大学の学びへの導入をしていくことが求められています。これこそが「高大接続」であり、そのために学生の現状を送り出す側の高校と受け入れる側の大学とがよく連携していく必要があると考えています。

今年3月講座は東日本大震災に遭遇し、その後の講座を中止するということがありました。

当日、帰宅できずに10人以上の受講生が大学に泊まらざるを得なくなるということを経験しました。その時も学生スタッフが残って、家庭との連絡の手伝いや帰宅経路の確認を行うとともに不安に思う新入生をサポートしてくれました。

その後、メールと手紙のやり取り、講義のネットでの配信に切り替えて無事に3月講座も終えることができました。私たちスタッフにとっても新たな経験でしたが、今年の新入生にとっても忘れられない経験になったと思います。

大学に入って学生がいかに伸びていくか、そして社会に役立つ人となって出て行くか、これからの大学に問われてくる課題だと思われます。

それに答えるためのまず第一歩の導入としてこれからも「入学前準備教育」に熱心に取り組んでいきます。ここに今年の報告書をお届けします。

ぜひ忌憚のないご意見、ご感想等をお寄せください。

2011年5月

聖学院大学 広報企画部長 山下 研一

## 目 次

### 講座案内

合格者へ送付した案内	.....	3
実施要領	.....	5
英語集中講座	.....	9

### 受講者データ

受講生データ	.....	14
面談記録	.....	17
各教科データ	.....	18
クロージングアンケート結果	.....	20

### スペシャル・プログラム報告

水野麻子氏講演会 報告	.....	25
ワールド・カフェ 報告	.....	27

### 実施の総括（英数国）・実作例

講師紹介	.....	29
基礎英語	.....	30
基礎数学完成	.....	32
文系国語表現力基礎	.....	34
小論文実作・添削例	.....	43
プレゼンテーション例	.....	45
事務局より（震災対応報告）	.....	47

### 参考資料

英語集中講座報告	.....	52
掲載新聞記事	.....	61

## 入学前準備教育を振り返って



1



2



3



4



5

1. 授業を聞く受講生
2. 受講生にコメントをしながら小論文を返却
3. 数学の授業の様子
4. 受講生と面談するスタッフ
5. スペシャル・プログラム (2月)

# 入学前準備教育

## 講座案内



2011年1月

合格者のみなさまへ

## 入学前準備教育のご案内

聖学院大学  
基礎総合教育部長・教授 標 宣男

拝啓 新しい年を希望のうちに迎えられたことと思います。お元気ですか。

このたびは、聖学院大学合格おめでとうございます。春からは大学生ですね。みなさんの聖学院大学での活躍に大きな期待をしております。

大学は視野を広げ思考力を深め、人格を向上させることのできる場所です。大学で「何をどう考え何をしたか」ということが、これからの人生を大きく左右します。いわゆる偏差値が高い大学を出たからと言って必ずしも高い評価を得られるとは限らないのは、大学での4年間をどう過ごすかが本人の意欲や目的によってかなり違ってくるためです。大学で受ける教育の成果を高めるためにも、就職・資格試験のためにも、高校までに身につける学力の土台がしっかりしていることが大切です。

聖学院大学は10年連続で、全国の高校の進路指導の先生が選ぶ「面倒見のよい大学」に選ばれました（詳細は裏面）。この入学前準備教育も、本学の面倒見のよさがあらわれたもので、大学の講義をスムーズに受講できるように、基礎知識を固めるためのものです。これからたくさん書くことになるレポート・論文作成能力を高める「国語表現力」、大学での講義やパソコン・インターネット利用に必要な「英語基礎」、「数学基礎」など大学のみならず実社会に出てからもよく使うものばかりです。数学は実際に公務員試験に出された問題、英語は洋楽や童話、メール、ショッピングサイトなども教材にした実践的な講座です。

この講座は2001年度入学生から実施して毎年改良を重ね、11年目になります。高校や大学、予備校などでの指導経験が豊富な先生が担当し、受講生の方からは「面白い授業で、教科のイメージが変わった」「わかりやすく役に立った」などと感想をいただいております。また90分授業や大学の環境に慣れ、学科を越えた友人が早くできるのも、もう一つのメリットです。

それでは、一足早くキャンパスでお目にかかることを楽しみにしております。

なお、この件については、改めて電話でご説明させていただきます。

敬具

## 保護者の方へ

「入学前準備教育」は、大学で学んでいくための基礎学力を確認し、補うための特別な授業です。大学で学ぶことの意欲を高め、授業のほか就職活動の際に必要な一定の学力をつけることを目的としています。本来、高校までに修得しておくべき教育内容を本学と予備校が共同で研究し、作り上げたオリジナルの教育プログラムです。実施は今年で11年目となりますが、毎年、受講生は入学後、確実に成績が伸びています。また入学前にキャンパスに親しみ、友だちができて、4月から不安なく大学生活が始められるというメリットもあります。このような教育は「リメディアル教育」と呼ばれ、いくつかの大学で始まっていますが、聖学院大学の取組みは、全国に先駆けて行ったもので、内容も高く評価され、朝日新聞 2007/4/7、読売新聞 2008/7/29、2009/3/6 などで取り組みが紹介されました。また朝日新聞 2007/7/23 付で「学生への面倒見がよい大学」として全国4位、サンデー毎日 2010/9/12 付では「進路指導教諭が勧めるイチ押し大学」で全大学中15位、私学だけでは10位でした。2010年度は、週刊ダイヤモンド 2010/9/18 などでも「面倒見のいい大学」として紹介されました。

なお、高校までに基礎学力を十分に修得できた学生は必要がないものなので、受講は強制ではなく希望者のみとなっております。また、費用につきましては、受益者が負担するという原則で設定されていますが、費用の半額を大学が補助しております。

面倒見が良い大学

順位	大学名(所在地)	ポイント
1	○金沢工業大(石川)	287
2	○立命館大(京都)	122
3	△東北大(宮城)	81
4	○武蔵大(東京)	65
5	国際教養大(秋田)	62
6	○明治大(東京)	61
7	○中央大(東京)	57
8	○名古屋商科大(愛知)	55
9	△九州工業大(福岡)	47
10	△山形大(山形)	42
11	○国際基督教大(東京)	41
12	○津田塾大(東京)	40
13	△東京大(東京)	38
14	○東京女子大(東京)	36
15	○聖学院大(埼玉)	35
	○立教大(東京)	35
17	△新潟大(新潟)	34
18	○福岡工業大(福岡)	33
19	△大阪大(大阪)	32
20	○成蹊大(東京)	31
21	△筑波大(茨城)	28
22	○東京理科大(東京)	26
23	○上智大(東京)	25
	○安田女子大(広島)	25
	高知工科大(高知)	25
26	秋田県立大(秋田)	24
27	○愛知大(愛知)	23
	○関西大(大阪)	23
29	富山県立大(富山)	21
30	△岩手大(岩手)	19
	○法政大(東京)	19

※大学名の○は私立、△は国立、無印は公立を示す

小規模だが  
評価できる大学

順位	大学名(所在地)	ポイント
1	国際教養大(秋田)	213
2	○国際基督教大(東京)	149
3	○成蹊大(東京)	80
4	○武蔵大(東京)	77
5	○金沢工業大(石川)	71
6	○津田塾大(東京)	55
7	○成城大(東京)	40
8	△一橋大(東京)	37
9	○東京経済大(東京)	35
10	△九州工業大(福岡)	32
11	高崎経済大(群馬)	28
12	高知工科大(高知)	27
13	△電気通信大(東京)	26
	○学習院大(東京)	26
15	公立はこだて未来大(北海道)	24
16	△東京外国語大(東京)	21
	○豊田工業大(愛知)	21
18	△小樽商科大(北海道)	19
19	富山県立大(富山)	18
	都留文科大(山梨)	18
	○大阪女学院大(大阪)	18
22	○東京女子大(東京)	17
	○多摩大(東京)	17
	○神戸女学院大(兵庫)	17
25	会津大(福島)	16
	清泉女子大(東京)	16
	横浜市立大(神奈川)	16
	○福岡工業大(福岡)	16
	○立命館アジア太平洋大(大分)	16
30	○聖学院大(埼玉)	15

学生支援力が高い大学

順位	大学名(所在地)	ポイント
1	○金沢工業大(石川)	130
2	○明治大(東京)	106
3	○立命館大(京都)	96
4	○中央大(東京)	57
5	△東京大(東京)	43
6	○早稲田大(東京)	40
7	○日本大(東京)	32
8	○名古屋商科大(愛知)	30
9	○立教大(東京)	29
10	△東北大(宮城)	28
	△山形大(山形)	28
12	国際教養大(秋田)	25
	○慶應義塾大(東京)	25
14	○法政大(東京)	23
15	○青山学院大(東京)	20
16	○武蔵大(東京)	19
	○中京大(愛知)	19
	△京都大(京都)	19
19	○東京理科大(東京)	18
20	○成蹊大(東京)	17
	○関西大(大阪)	17
22	○東京女子大(東京)	16
23	○福岡工業大(福岡)	14
24	△一橋大(東京)	13
	○同志社大(京都)	13
26	○愛知大(愛知)	12
	○甲南大(兵庫)	12
28	△新潟大(新潟)	11
	○近畿大(大阪)	11
30	△岩手大(岩手)	10
	○聖学院大(埼玉)	10
	○専修大(東京)	10
	○津田塾大(東京)	10
	○金城学院大(愛知)	10
	△大阪大(大阪)	10
	△愛媛大(愛媛)	10
	北九州市立大(福岡)	10
	○九州保健福祉大(宮崎)	10

サンデー毎日2010年9月12日号

「進路指導教諭が勧めるイチ押し大学」より

# 2011年 聖学院大学 入学前準備教育 実施要領

目次		
1	カリキュラム内容	基礎英語 …… 2
		文系国語表現力基礎 …… 2
		基礎数学完成 …… 2
2	その他特別プログラム	…… 3
3	時間割	…… 4
4	費用	…… 5
5	申込み方法	…… 5
6	通学について	…… 5
	受講者の感想を紹介します	…… 6
	英語集中講座のお知らせ	…… 別紙
	入学前準備教育申込書	…… 別紙

## **2月講座** 【対象：推薦入試、AO入試、スポーツ推薦入試入学手続き者】

内 容 基礎英語、文系国語表現力基礎、基礎数学完成

期 間 2月7日(月)～10日(木)、15日(火)～18日(金)、  
21日(月)～23日(水) 11日間

受講料 20,000円

## **3月講座** 【対象：自己推薦入試、一般入試英語特別・A・B、AO入試入学手続き者】

内 容 基礎英語、文系国語表現力基礎、基礎数学完成

期 間 3月7日(月)～11日(金)、15日(火)、16日(水)、  
22日(火)～25日(金) 11日間

受講料 20,000円

## **英語集中講座** 【対象：推薦入試、一般入試英語特別・A日程、AO入試、スポーツ推薦入試、自己推薦入試入学手続き者】

期 間 2月24日(木)、25日(金)、28日(月)、3月1日(火)、2日(水) 5日間

定 員 50名

受講料 10,000円

(注) 英語集中講座は、所属学科および、英語のレベルによってクラスが異なります。  
詳細は資料をご確認ください。

## 1. カリキュラム内容

### (1) 基礎英語

#### a. 内容

リスニング、講読ベーシック

ノート

#### b. 回数

全8講

#### c. カリキュラム

英語入門	大学での英語とのつきあい方	
リスニング編	リスニング基礎の基礎	音の聞き取り
	音の変化を聞き取る	総合演習
英文講読編	リーディング基礎の基礎	日常英語その1
	日常英語その2	ストーリー性のある文章

### (2) 文系国語表現力の基礎

#### a. 内容

文系作文、レポートの書き方基礎

#### b. 回数

全8講

#### c. カリキュラム内容

思考力養成ワーク 1	環境問題を考える
思考力養成ワーク 2	平等意識を考える
現代社会を考える 1	大学に入って学びたいこと
現代社会を考える 2	他人の文章を読む
日本のところを考える	

\* 記載されているカリキュラムは平均的なものであり、実際は一人一人の進度によって多少違いが出ます。

### (3) 基礎数学完成

#### a. 内容

論文・レポート作成、統計資料の読み方、コンピュータ・インターネット環境利用時、就職試験など、文系で必要とされる数学基礎

#### b. 回数

全8講



(入学前準備教育・英語)

c. カリキュラム内容

円	扇形
三角形の性質	速さ
濃度	仕事算
約数・倍数	記数法

## 2. その他特別プログラム

### (1) 自己紹介プログラム 初日

11日間一緒に受講する友だちと、簡単なゲームなどを通して、知り合うためのプログラム。  
学生スタッフがリードしますので、リラックスして参加してください。

### (2) 面談 昼休み

あらかじめ、面談シートを書いていただき、昼休みに聖学院のスタッフと個別に面談をする時間を設けます。大学でやりたいことなどを元に、これからどんなキャンパスライフにしたらよいか、勉強の仕方、就職の準備など、スタッフの経験に基づきながらアドバイスをします。

(もちろん、面談時間以外の授業の合間や授業終了後も、質疑応答は受け付けています)。

### (3) 友だちづくりのためのスペシャル・プログラム

1日を使って、友だちづくりのためのプログラムを行います。

全クラス合同で行いますので、クラスを越えて新しい友だちもできるチャンスになります。

このプログラムも、学生スタッフが、実施運営を積極的に行います。

### (4) プレゼンテーション

これまでの入学前教育を振り返りつつ、今後の学生生活でどのようなことにトライしてみたいかなどを各自まとめ(準備)、一人ずつ発表(プレゼンテーション)をします(実施)。自分の考えをまとめて皆の前で「話す」という練習にもなります。

### 3. 時間割

下記は時間割の一例です。

初日に教室やクラスをお知らせします。クラスにより授業の順番が変わりますが内容は同じです。

クラスは、いろいろな学科の人たちと知りあいになれるように考慮して決めます。

なお、3月講座は3月11日に起こった地震のため、15日以降のプログラムは全て中止となりました。

注) プレゼン=プレゼンテーション (発表)

2月	3月	1限	2限	昼休み	3限	4限	
		9:00~9:50	10:00~11:30	11:30~12:30	12:30~14:00	14:10~15:40	
7	7	オリエンテーション 面談シート	自己紹介	昼食	基礎英語	文系国語	
2月	3月	1限	2限	昼休み	3限		
		9:00~10:30	10:40~12:10	12:10~13:10	13:10~14:40		
8	8	文系国語	基礎数学完成	自習/面談/ 昼食	基礎英語		
9	9	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
10	10	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
15	11	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
16	15	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
17	16	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
18	22	友だちづくりのためのスペシャルプログラム ※					
21	23	文系国語	基礎数学完成		基礎英語		
22	24	文系国語	プレゼン説明		プレゼン準備		
23	25	テスト	プレゼン実施1		プレゼン実施2	14:10~15:00	
					クロージング		

※スペシャル・プログラムの内容は下記の通り

講演会「ない」ものを求めるより、「ある」ものを活かす工夫を (2月講座にて開催)

ワールド・カフェ (3月講座にて開催予定だったが震災のため中止、4月に参加希望者を募り開催)

### 4. 費用

NO	講座名	金額	講座「1」と 「2」受講	講座「1」 のみ受講	講座「2」 のみ受講	支払い期間
1	英数国講座 (2月/3月)	20,000円	30,000円	20,000円	—	~2月7日 まで
2	英語集中講座	10,000円		—	10,000円	

入学前準備教育  
**英語集中講座開講のお知らせ**

聖学院大学合格、おめでとうございます。

毎年、聖学院大学新生を対象として、入学前の英語集中講座を開催し、英語学習をとおりて大学での学びの準備のお手伝いをしています。この「英語集中講座」では、高校で学んだ基礎英語をさらにステップアップし、実際の日常生活の英語を実践します。詳しくは講座内容をご覧ください。この講座は任意参加のプログラムですが、積極的な参加をお待ちしています。

1) 開講日：

**【5日間】2011年2月24日(木)、25(金)、28(月)、3月1日(火)、2日(水)**

2) 内容と時間： ※詳細は、裏面の講座内容参照

**A. ベーシック・イングリッシュ English Time**

時間： 1限： 10:00~11:00  
2限： 11:10~12:10

**B. ステップアップ英語 Step Up English**

- Step Up English は、英検準2級、2級を取得(見込みを含む)した受講生向けです。
- 入学後に選択して受講する科目「テスト・イングリッシュ A」として1単位を認定します。
- 欧米文化学科の英語強化プログラムに参加したい人にお勧めです。

時間： 1限： 9:00~10:30  
2限： 10:40~12:10  
(昼食をはさむ)  
3限： 13:00~14:30

3) 場所： 聖学院大学

4) 受講料： 10,000円

振込み方法は、「2011年聖学院大学入学前準備教育実施要領」(白の冊子)  
P.5「費用」を参照ください。

5) 申込方法：別紙申込書(入学前準備教育申込書)に必要事項を記入の上、  
同封の封筒またはFAXで送付ください。ホームページでも申込できます。  
申込書受領後、受講証をお送りします。

6) 定員： 50名(English Time 35名、Step Up English 15名)  
※定員になり次第、締め切りとなります。

7) 申込締切：2011年1月31日(月)

8) お問合せ先：聖学院大学 学生支援部 国際交流課

TEL：048-725-2801 FAX：048-781-0094 E-mail：kokusai@seigakuin-univ.ac.jp



裏面に続く→

## A. ベーシック・イングリッシュ

### English Time

このクラスは、4月から聖学院大学で勉強をする英語のクラスに慣れ親しむことを目的としています。講座では、サンプル・レッスンをもとに、アクティビティーを取り入れて、課題に取り組みます。

- 1日目： 「クラスメイトを知ろう！」コミュニケーション方法  
Session 1: Get to know everyone better. Communication strategies
- 2日目： 「サバイバル英語」 海外旅行で必要最低限の英語を学ぶ  
Session 2: Survival English. Survival skills while traveling abroad
- 3日目： 「English through Songs」 英語でアーティストや歌について学ぶ  
Session 3: English through Songs. Learn about artists and songs using English
- 4日目： 「シネマ英語」 映画を見ながら英語を上達させる  
Session 4: Cinema English. Improve your English by watching movies
- 5日目： 「自然にコミュニケーション」 友達やクラスメイトと英語を楽しく話す  
Session 5: Communicate naturally: Enjoy speaking English with friends and classmates

## B. ステップアップ英語

### Step Up English

リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングに役立つ基礎文法力アップの講座。

資格試験でスコアをアップしたい、または英語の4技能をもっとフルに活用したいと思っている人のために、短期間で集中して文法の見直しができる講座を用意しました。この講座は文法の説明だけでなく、短い会話を含めた口頭練習を取り混ぜて、より英語らしい英文の表現が出来るように、総合的な英語力アップを目指します。欧米文化学科で「英語強化プログラム」に参加したい人や、留学・資格試験の受検を考えている人には特にお勧めです。

- 1日目： よく間違える be 動詞と一般動詞の違い、現在時制と現在進行形の違い  
2日目： 未来時制と過去時制を使って自分や周りの人について表現しよう  
3日目： 完了形っていつ使うの？微妙な気持ちを表す助動詞の使い方  
4日目： 会話に役立つ疑問文や否定文の作り方、受動態の見直し  
5日目： 資格英語テストに良く出る不定詞と動名詞の違い、奥の深い動詞の使い方、まとめ



# 入学前準備教育

1. 受講生データ

2. 面談記録

3. 各教科データ

4. クロージングアンケート結果



# 1. 2011年受講生データ

## (1)試験別受講者数・実受講者数・受講率

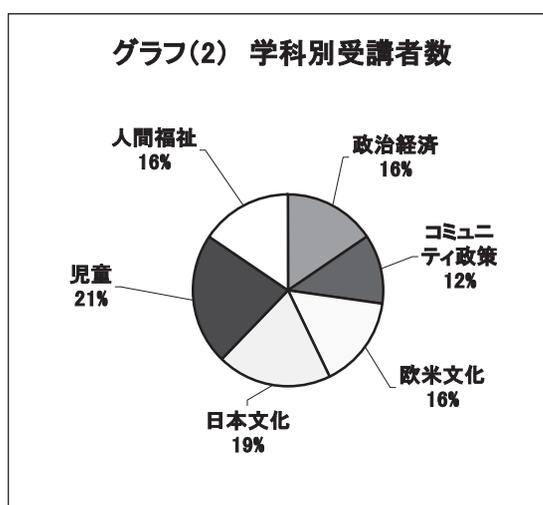
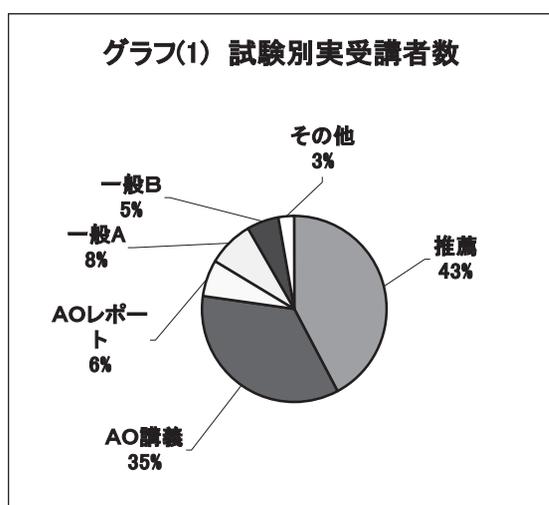
	英数国			英語集中			実受講者数	受講対象者	受講率
	2月	3月	小計	A	B	小計			
推薦	59	12	71	22	8	30	87	159	54.7%
AO講義	42	25	67	14	4	18	72	164	43.1%
AOLレポート	8	3	11	4	1	5	13	28	43.3%
一般A		17	17	0	0	0	17	48	35.4%
一般B		11	11	0	0	0	11	40	27.5%
その他	2	4	6	0	2	2	6		
計	111	72	183	40	15	55	206		
2010年	140	71	211	35	12	47	232		

\*その他は、自己推薦、スポーツ推薦、英語特別入試など

## (2)学科別受講者数・実受講者数・受講率

学科	英数国			英語集中			実受講者数	受講対象者	受講率
	2月	3月	小計	A	B	小計			
政治経済	15	15	30	2	3	5	32	77	41.6%
コミュニティ政策	14	10	24	0	0	0	24	60	40.0%
欧米文化	13	6	19	12	10	22	32	61	52.5%
日本文化	24	14	38	6	0	6	40	73	54.8%
児童	28	15	43	11	2	13	46	111	41.4%
人間福祉	17	12	29	9	0	9	32	73	43.8%
計	111	72	183	40	15	55	206	455	45.3%

\*受講対象者は、推薦、AO、自己推薦、スポーツ推薦、一般A、B、英語特別の入学手続者





II 次の項目にお答えください。

1. 本学を選んだ理由はどんなことですか？


2. 本学に期待することは何ですか？


3. 本学で身に付けたい資格・能力は何ですか？


4. 将来どんな職業に就きたいですか？


5. 特技や才能などを含めて自分をアピールしてください。


**※ここから下は記入しないでください。**

氏名：	学科：
面談メモ	
備考 1	備考 2
実施日： 2011 年      月      日	面談者名：

## 2. 面談記録

入学前準備教育のスタッフが受講者一人ひとりと別紙アンケート（前ページ参照）を元に面談を行い、本人の希望、それに対するアドバイス、入学後の過ごし方を中心に話し合った。面談後にスタッフの書いた記録より、一部を紹介する。（■以降は、学科、試験、性別）

### ■ 政治経済・指定校推薦・男

教職を取りたい。アルバイトとサークルを両立したいと考えているが、アルバイトに重きを置きたい。大学の勉強スタイルについては、多少説明したところ、安心したような顔をしていた。

### ■ コミュニティ政策・AO入試（講義型）・男

人の役に立つ事をしたいという気持ちが強く、ボランティアに積極的に参加する意識を持っている。とてもしっかりと受け答えができ、不安要素が見つからない。本が好きで、図書館司書も考えている。余裕があれば陸上部に入りたい。

### ■ 欧米文化・AO入試（レポート型）・女

英語が好きで、将来、海外でも使えるような仕事をしたい。図書館司書や先生の資格をとりたいと考えている。茶道部にも入ってみたいと部活動にも意欲を持っている。夢がたくさんある。

### ■ 日本文化・指定校推薦・男

日本文化学科の卒論に「ゆず（アーティスト）」についてのものがあり、音楽と伝統的な日本文化と好きなことが学べると思い、この学科を選んだ。まだ友人ができたとはまでは言えないが、残りの時間に期待するし、ポジティブに考えている。アルバイトとサークル（軽音楽）の両立がしたい。

### ■ 児童・AO入試（講義型）・女

90分の授業にはだいぶ慣れてきたが、まだ少し不安がある。保育園出身ということと、仕事で迎えが遅くなってしまう子供たちの面倒を見る保育園で働きたいと考えている。留学制度に興味を持っていて、オーストラリアに行ってみたいと思っている。写真部に興味がある。

### ■ 人間福祉・AO入試（講義型）・女

過去の経験からスクールカウンセラーや精神保健福祉に興味があり、目指したいと考えている。この入学前準備教育にはもう慣れたようで、既に友達（同じ学科）も多くいる様子。サークルには興味があるが、まだこれといって決まってはいない。授業についていけるか心配。

### 3. 各教科データ

講義内で行われたテストの集計結果を掲載。

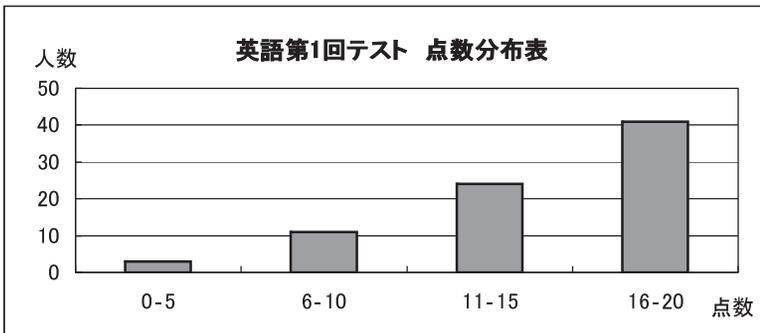
※テストは英語、数学共に2月講座で2回実施、3月講座は地震の影響により実施しなかった。

#### 英語テスト結果

講座内に行われたテストの集計結果を掲載

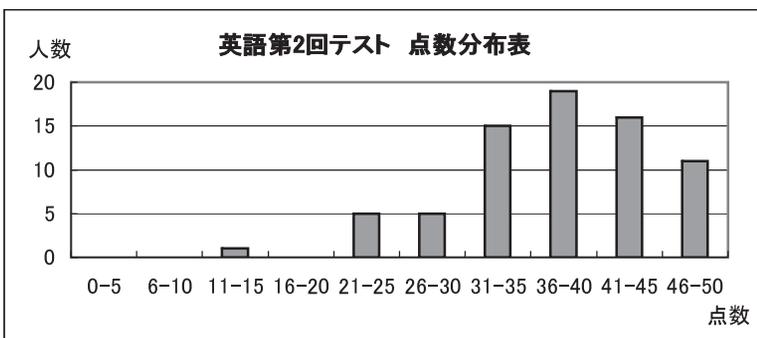
##### 英語第1回テスト結果(20点満点)

講座	2月
人数	79
平均点	14.7



##### 英語第2回テスト結果(50点満点)

講座	2月
人数	72
平均点	37.6

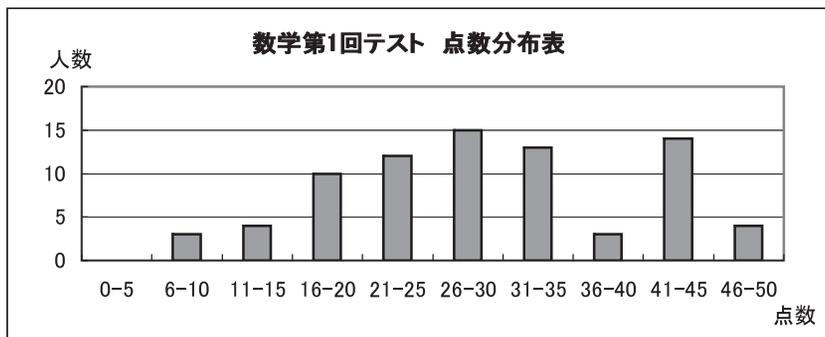


## 数学テスト結果

講座内に行われたテストの集計結果を掲載。

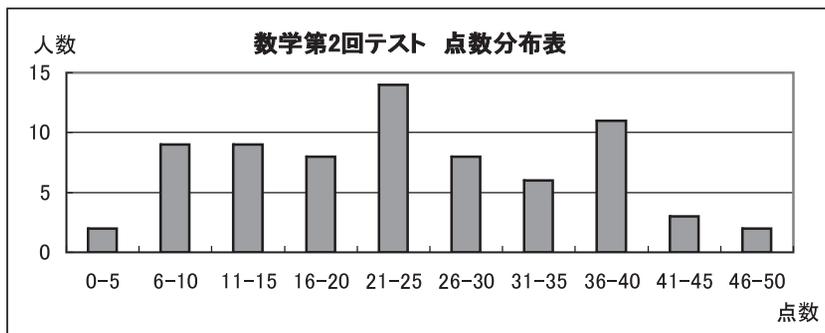
### 数学第1回テスト(50点満点)

講座	2月
人数	78
平均点	31.3



### 数学第2回テスト(50点満点)

講座	2月
人数	72
平均点	25.8



## 小論文提出率結果

講座内で提出、および添削した小論文の集計結果を掲載。

### 小論文2月 提出者表(受講者数111名)

		合計提出者
a	課題1 マナー違反	62
	課題2 ニート	28
b	課題3 情報コミュニケーション	53
	課題4 小学校の英語教育必修化	20
c	課題5 若者に必要な能力	36
d	課題6 大学で学びたいこと	64
e	課題7 他人の作品を参考にしよう	51

### 小論文3月 提出者表(受講者数73名)

		合計提出者
a	課題1 マナー違反	30
	課題2 ニート	21
b	課題3 情報コミュニケーション	28
	課題4 小学校の英語教育必修化	6

※小論文はa,b,c,d,eの中からそれぞれひとつのテーマを受講生が選択。

※3月講座は地震の影響により、講義内でc,d,eの課題を実施することができなかった(自宅で書く添削課題とした)。

## 4. クロージングアンケート結果

2月講座最終日に受講生に記入してもらった、クロージングのアンケートより集計・分析をした。  
 ※グラフは2月のデータのみ、3月講座は地震の影響のため実施しなかった。

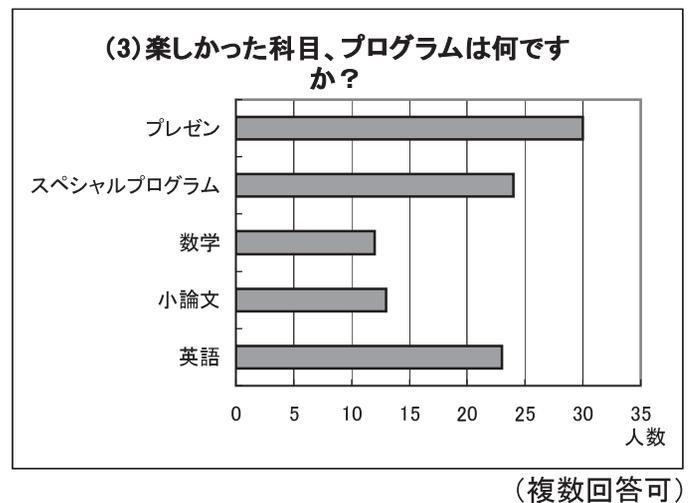
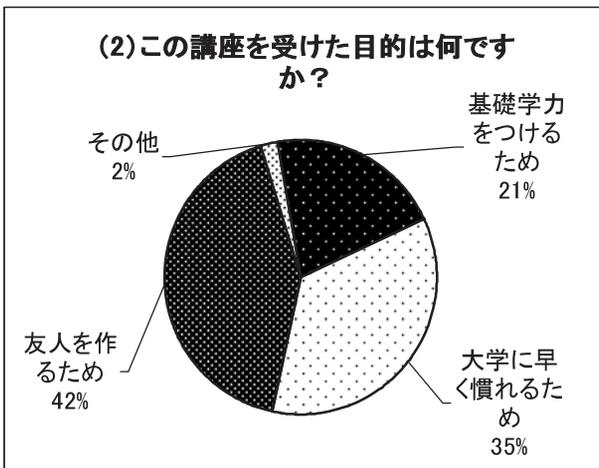
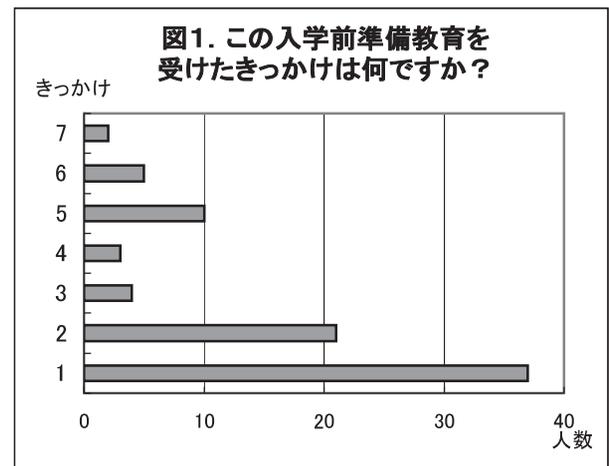
回答数

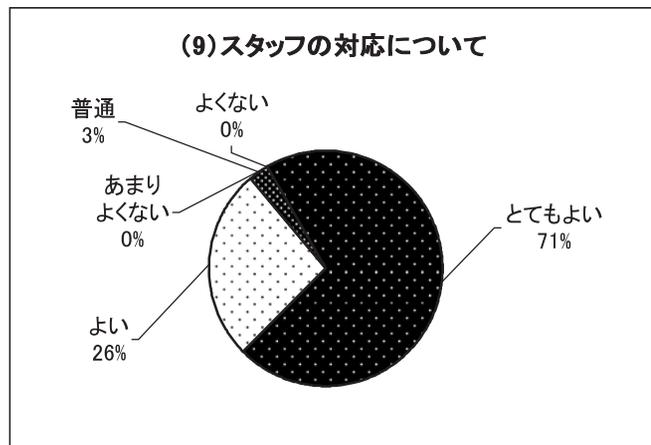
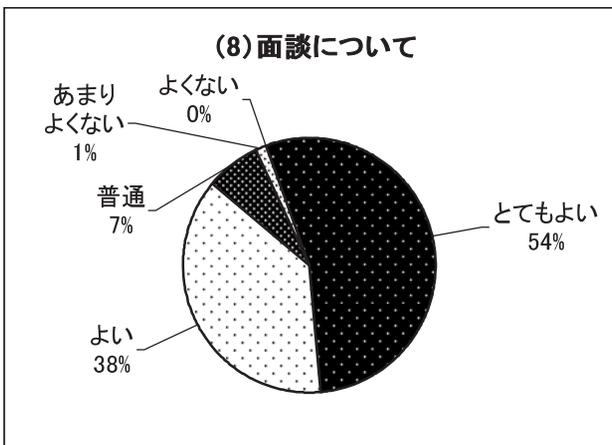
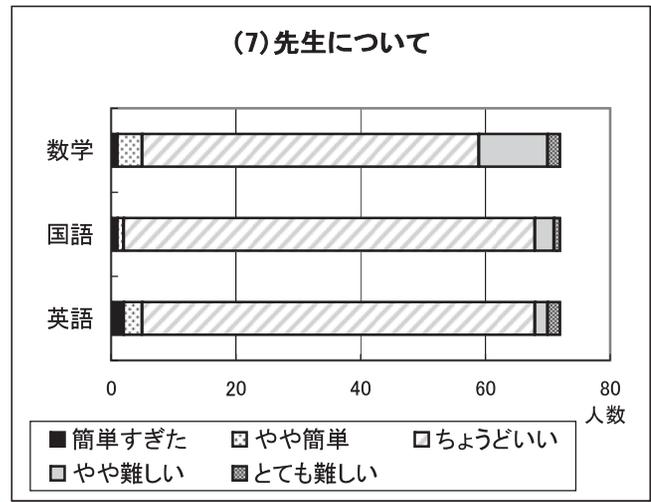
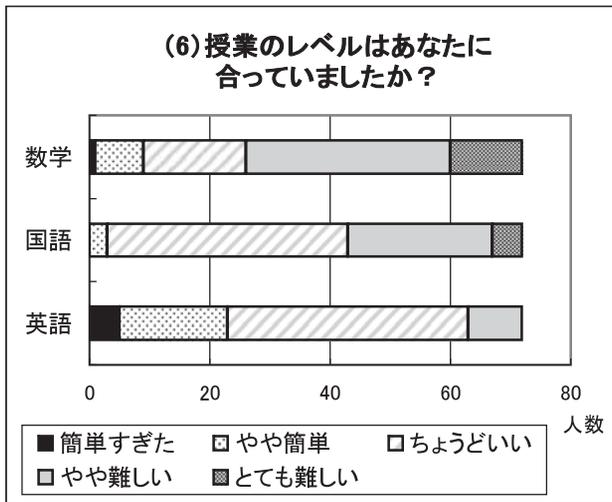
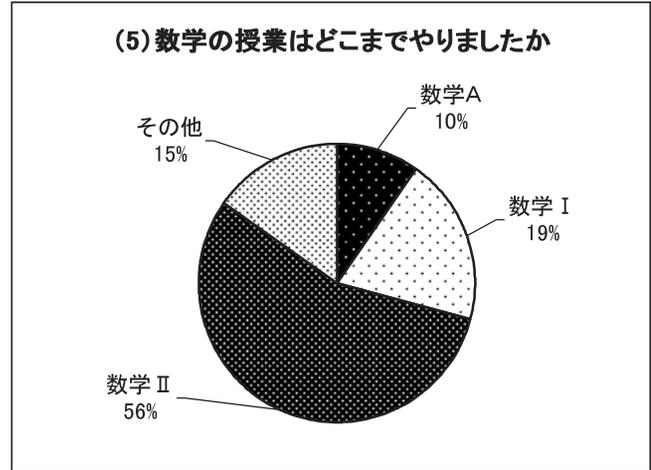
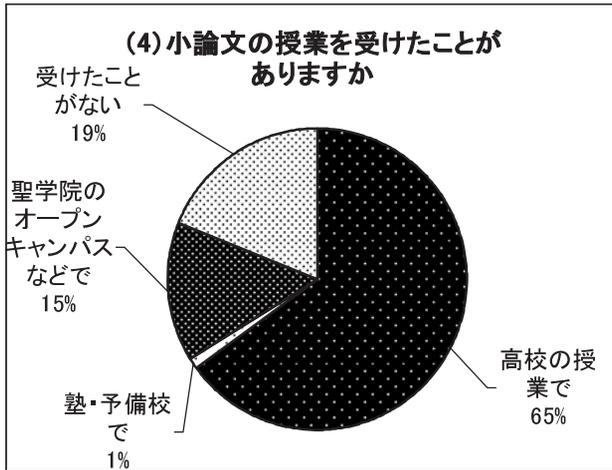
講座	回答数	受講者数	回答率
2月	72	111	65%

(1)この入学前準備教育を受けたきっかけは何ですか？(複数回答可。表1、図1参照)

表1

きっかけ	2月人数
1 大学からの案内を見て自分で決めた	37
2 親に行くように勧められた	21
3 大学からの電話で勧められた	4
4 聖学院大学の入試で先生に勧められた	3
5 高校の先生に行くように勧められた	10
6 友達に誘われた	5
7 その他	2





注：学生スタッフは総勢 10 名。1 年生から 4 年生までの学生が朝 8 時 30 分から夕方 5 時頃まで入学前準備教育スタッフとして、これにあたった。学生スタッフは小論文の添削や受講生のサポート、面談、スペシャル・プログラムの運営サポートなども行った。

## (10) 自由解答欄より

同じくクロージングアンケートの自由記入欄より転載する。同じような意見は集約した。

各教科の良かった点、楽しかった点など

### 【全般】

- 参加する前は不安なことばかりでしたが、講義を受けてみたらすごい楽しかったし、友達もできて良かった。先生も面白かったし、大学楽しみです。
- 高校での勉強をあまりやってなかったのが少しついていくのが大変でした。でも、友達も出来たし、90分の授業を入学前から体験できたのでよかったです。
- 基礎から詳しく教えてくれたので良かったです。
- 最初は不安だらけだったけど、先やスタッフの皆さんの対応が良かったので、安心しました。基礎学力もついて友人もできて、楽しく過ごすことができました。
- 自分に勉強の習慣が無いことが分かった。
- どの先生方もとても丁寧に教えてくださって分かりやすかったです。
- 授業はとても楽しく分かりやすかったです。スタッフさんの面談も楽しかったです。

### 【英語・数学・小論文】

- 英語の授業がとても良かった。高校でやれない英語正しい発音が身に付いたと思います。
- 数学の心理ゲームの話で盛り上がったのが面白かったです。
- 特に小論文はとても力になりました。
- 小論文は昔から苦手だったので、少しは慣れてきました。
- 小論が一番苦手でもいつも悩まされていましたが、先生やスタッフさんのコメントのおかげで少しずつできるようになりました。

#### 各教科以外の感想・意見

- 最初はあまり乗り気ではなかったのですが、11日間行ってみて、最終的に「行ってよかった」と思うようになりました。この11日間、とても楽しかったです。
- 友達もできたし、勉強もできたし、高校の授業がない間、来てよかったです。
- スタッフの先輩が優しくよかったです。初日の自己紹介も楽しかったし、みんな面白くて、来て良かったなと思いました。
- 他学科の人と仲良くなる機会を得られてとても良かった。
- 最初は正直朝も早くだるいなと思っていました。でも、受けてみると、予想外にとっても楽しく授業を受けられました。友達もできてとても楽しかったです。
- 最初のほうは、友達がいなし、不安で講座を受けたくなかったけど、受けてみたら、楽しくて、色んな学科の人と仲良くなれたので、参加してよかったなと思いました。
- 今回の準備教育、友人がとても増えて多少不安だった大学生活も少しずつ希望が出たような気がします。スタッフの人たちとも仲良く接していただき、最初の頃はとても助かりました。大事な友人もできたし、参加して損しない講座だったと思えます。春からの大学生活、とても楽しくなりそうです。

# 入学前準備教育

1. 水野麻子氏講演会 報告

2. ワールド・カフェ 報告



# 1. 水野麻子氏 講演会報告

## 講演ー「ない」ものを求めるより、「ある」ものを活かす工夫を

2月16日(水)、講師に水野麻子さん(有限会社サグラージュ代表取締役・家庭教師・家庭教育学会会員)を迎えて、身の回りに「ある」ものに目を向けて有効活用するための考え方を伝授、午前の部では大学での学びやノートのとり方を工夫するなどの講演が行われた(プログラム詳細は次頁参照)。午後の部では「ペットボトルをリサイクルする方法は、どこに行けば調べられるか」といったテーマを設定、各班でディスカッションし、話した内容を模造紙にまとめて発表した。

※開催後、受講生にスペシャル・プログラムについてのアンケートを実施した。



図やカラーペンを使ったノートのとり方を紹介



「見やすいノート」を考える受講生



話しながら内容を模造紙にまとめていく



各班で話し合った内容を受講生が発表

## 開催後に行ったアンケート調査からの感想

- ・物事の考え方をもう一度見直してみようと思った。
- ・自分なりのノートを作りたいと思いました。後に見てもはっきりわかるような、そんなノートを作りたいです。
- ・ノートというのはただ単に字を書いて色をつけ書くものではなく、様々な形で作るものだと知ることができました。ものを調べるためには方法を考え、見方を広くして調べるべきだと知りました。
- ・たくさんの出来事の中で、自分ができるとしてできることを沢山していきたいと思いました。
- ・自分にとって覚えられるノートを作って、大学生活をenjoyしたいです。
- ・わかる、わからないは自分で勝手に決めていることがわかりました。
- ・調べ方について、本やインターネットだけじゃなく、いろんな調べ方があるんだなと思いました。
- ・できないものをがんばるよりも、できるものをのばすという考え方があると知った。

# 「ない」ものを求めるより、「ある」ものを活かす工夫を

コミュニケーション能力、考える力、英語力……。現代の学生は自分に「ない」ものを身に付けようと必死になり、周囲の大人たちもそれが不可欠であるかのように声高に叫ぶ…。

「ない」ものを手にするための努力それ自体を悪いとは思わないが、そもそもそれは本当に必要なものなのだろうか。本講では、そんな問題提起とともに、自分に「ある」ものに目を向けて有効活用するための考え方やテクニックを伝授。

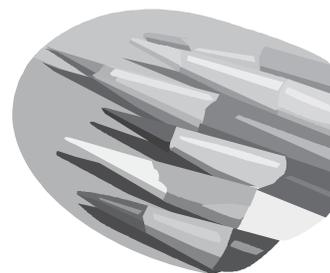
『語学力ゼロで8ヵ国語翻訳できるナゾ』（講談社）の著者が、自らの手で道を切り開く知恵を学生たちに伝えていく。

講師：水野麻子 有限会社サグラーシェ代表取締役・家庭教育師（家庭教育学会会員）

実務経験も事前学習もなしに翻訳者になると決めて2週間で独立(23歳)。営業をまったくせずに数ヶ月先まで予約で一杯の状態を維持。1日平均処理量は、一般的な翻訳者の5~6倍。「好きなことを仕事にする」をモットーに、そのときどきで関心・興味を持てるものを仕事にかえて満喫。現在は、執筆を中心に活動中。著書に『語学力ゼロで8ヵ国語翻訳できるナゾ』、『らくがきが驚きの効果を生む「ピクチャー・ノート」勉強法』など。

日時：2011年2月16日(水) 10:00-15:40

会場：聖学院大学エルピスホール・インターネットカフェ  
(埼玉県上尾市戸崎1-1)



当日プログラム(予定)

時間	時間	内容(講演/ワークショップなど)
1時間目	10:00-10:50	「良い」ノートとは：ノートの作り方、考え方、材料のヒント
	10:50-11:30	ことばについて考える(1) 英語力とは？「できる」「できない」の線引きは？「できない」根拠は？
昼休み	11:30-12:40	
2時間目	12:30-12:55	ことばについて考える(2) 「わからない」とは、どういう状態か？何がどうわからないのか？
	12:55-13:30	調べ物について
	13:30-14:00	「ワークショップ」：調べ物の選択肢の可能性を探る
3時間目	14:10-15:40	グループディスカッション・まとめ

■ 問合せ先：聖学院大学広報企画部 TEL 048-780-1707 jizen@seig.ac.jp

## 2. ワールド・カフェ「今回の震災で私たちは何ができるか」報告

地震のため中止になった3月講座のスペシャル・プログラム「ワールド・カフェ」（一つのテーマを皆で話し合いながらじっくり考える対話形式）を学生スタッフが主体となって4月に開催した。2・3月講座受講生に呼びかけ、希望者が“震災”をテーマに、震災を通して思ったこと、今私たちができることなどを話した。

### 概要

日時 2011年4月18日（月）13:00～16:00  
場所 聖学院大学インターネットカフェ  
テーマ 「今回の震災で私たちは何ができるか」  
参加人数 20人（入学前準備教育3月講座、2月講座受講生）  
スタッフ 3人（学生スタッフ）



模造紙に意見を書き込みながら話す受講生

### 当日の様子

一つのテーブルにつき4～5人が座り、置いてある模造紙にその場で出た意見や考えを書きこみながら、テーマについて話し合った。また、最後には各テーブルで意見をまとめ、発表した。

3月講座後半は地震のため中止となっていたが、「震災で何ができるか」を話し合いたいという学生スタッフが自発的にワールド・カフェを企画、準備を行った。

### まとめ（受講生たちがまとめた意見）

- ・風評被害や原発など次々と現状が移り変わり、何が正しくて、何が間違っているか、実際にわからない。支援にしても、国にも被災者にも私たちにもできることの限度がある。ならば、私たちにできることは震災の事をこれからも考えたり、話したり、意識を持ち続けることが重要なのではないだろうか。
- ・無駄を出さないことが大切なのではないだろうか。また、私たちは震災以前と変わらない日常生活を送るべきである。経済をまわして、東北の経済を活性化させることが、復興に貢献できる手段である。自分のできることをやっていくことが良いのではないだろうか。
- ・物資は今すぐに使用できる即戦力である。反対に募金は将来復興のために使用するものである。このことから、やはり募金が一番有効な手段であると思う。  
また、福島県民への被爆差別が一部で出てきているが、こういった問題に対しても差別を行わないといった自分にできる必要最低限のことを実践していくべきだ。
- ・節電、献血、募金といった節約や物の提供など、できることから始めていくべき。  
また、どうやったら、東北の人たちに生活に必要な物やアイデアをあげられるか、考えていくことが大切だと思う。